

第46回群馬脳卒中医療連携の会 本会議兼特別講演会 議事要旨

- ◇ 日 時 令和7年2月8日(土) 14:00～16:00
- ◇ 形 式 対面開催
- ◇ 場 所 前橋赤十字病院 講堂
- ◇ 出席者 184名：別紙参照
(計画管理病院、連携病院、医師会、行政、県内外医療機関、その他)
- ◇ 共 催 前橋赤十字病院・太田記念病院・公立館林厚生病院・桐生厚生総合病院
第一三共株式会社

開会挨拶を本会代表世話人の前橋協立病院院長補佐兼地域連携相談センター長の朝倉健先生よりいただき、第一部の議事進行を太田記念病院の矢尾板裕之先生、第一部閉会挨拶を公立館林厚生病院の松本先生よりいただいた。

また特別講演の議事進行を、前橋赤十字病院の清水立矢先生、第二部閉会挨拶を桐生厚生総合病院の曲澤聡先生よりいただいた。

1. 開会挨拶

本会代表世話人 前橋協立病院 院長補佐兼地域連携相談センター長 朝倉 健

本日は、貴重なお休みの中、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。今日1日を充実した会にしていければと思いますのでよろしくお願い致します。

この連携会議におきましては例年、前橋総合福祉会館で開催をしておりましたが、土曜午後予約を取る事が中々難しく、抽選もあり、今シーズンは前橋赤十字病院の講堂をお借りすることになりました。また、これまでコロナ渦で情報交換会の開催も行えておりませんでした。今シーズンより再開しようということになり、前橋赤十字病院内で開催をさせていただく予定となっております。

今回は群馬大学脳神経外科の大宅教授、リハビリテーション科の和田教授をお招きして講演を承る予定となっております。この会の開催を毎度行なわせていただいておりますが、毎回、来て良かったと思って頂ける様な会にしていきたいと考えており、皆様と一緒に築き上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

2. 第一部

座 長：太田記念病院 副院長 矢尾板 裕之

(1) 連携病院報告：演題『当院の取り組みと脳卒中地域連携パスの実績報告』

演者：日高リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター室長 岩本 鉦樹

病院概要や回復期リハビリ病棟の概要をはじめ、R5年度(R5年4月1日～R6年3月31日)

と R6 年度 (R6 年 4 月 1 日～R6 年 11 月 30 日まで) の期間における院内脳卒中地域連携パスの受入れ状況、患者内訳や自宅復帰率、在院日数、FIM の変化などの分析結果についての発表をされた。また病院の取り組みについて、院内設備やリハビリ病棟の体制、事例を通した復職・就労支援の実際についての内容の発表が行なわれた。

(2) 群馬県脳卒中・心臓病等総合支援センター設置について

演者：群馬大学医学部付属病院 脳神経外科教授 大宅 宗一先生

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の活動について、モデル事業までの流れと群馬県の独自の取り組みのお話あり。(①群馬脳卒中救急医療ネットワーク、②群馬脳卒中医療連携の会など) また、脳卒中・心臓病等総合支援センターの目指すものとして「各病院での相談支援、の支援」、「情報提供の充実」、「ネットワーク構築」について、SCPA-Japan 群馬県支部発足を 2025 年 4 月に目標にされている事など既存の体制や今後の重要施策であまり行なわれてこなかったサービスの提供を行っていけることを目指した様々な取り組みにおける活動内容の発表をいただいた。

(3) 第 46 回世話人会報告

報告者：前橋赤十字病院 地域連携課長 板倉 孝之

第 46 回世話人会を昨年 12 月 11 日 (火) 18:30～WEB にて開催した。

以下 4 点の内容について協議等を行った。

①本会議の内容について

→本日の内容で決議された。

②情報交換会の開催有無について

→情報交換会の開催を行うことで決議され、本日本会議終了後に開催予定となった。

③ぐんまちゃんの脳卒中ノートについて

→ノートのネームの件で「ぐんまちゃん」の用語を使用しないでほしいと県の担当部署より申し出あった。これを受け、新しいネームを皆様より募集して決めることとなり、いくつかの施設さんよりネーム案をいただいた。その中から代表事務局で協議を行い、「ぐんまの脳卒中ノート」へ名称変更することで決定させていただいたのでご了承をお願いしたい。

④脳卒中・心臓病等総合支援センターのホームページ開設について

→本日、群馬大学の 大宅教授よりお話しあった群馬県脳卒中・心臓病等総合支援センターのホームページが開設された。その中で朝倉先生が 5 回にわたり脳卒中医療体制についてコラムを書く予定なので、皆様ぜひご覧下さい。

<質問>

- ・ Q 1 : 「ぐんまちゃん」の名称は不可だが、イラスト使用は可能なのか？
- ・ A 1 : イラストは今まで通り使用してよいとのこと。
- ・ Q 2 : 藤岡市が県境に位置することから、藤岡総合病院は埼玉県の方のご来院も多々あるた

め、「ぐんまちゃんの」というネームだとそこまで抵抗はないが「ぐんまの」となると埼玉県の方は使用しにくい印象を受けてしまうかもしれない。そのため今後、改訂されることある際にご高配いただけるとありがたい。

- ・ A 2 : 県から補助金で作成しているため、今年度中には作成をしなければならない。ひとまずこのネームで作成させていただき、今後検討させていただければと思う。

(4) 次回当番病院挨拶

群馬大学医学部附属病院 脳神経外科講師 藍原 正憲

私はこのような立場で参加するのは初めてになりますが、2008年～2012年まで前橋赤十字病院の脳外科におり、その頃にこの会の立ち上げを朝倉先生はじめ日赤のスタッフの皆様が尽力をされていたのをよく覚えております。今後、少しでもこの会に貢献できるようにしていければと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。今回は、群馬大学医学部附属病院、伊勢崎市民病院、伊勢崎佐波医師会病院、沼田脳神経外科循環器病院となります。よろしくお願ひ致します。

(5) 第一部閉会挨拶

公立館林厚生病院 院長 松本 正弘

3. 第二部

(1) 特別講演

座長：前橋赤十字病院 脳神経外科部長 清水 立矢

演題：『脳卒中リハビリテーションの最近の話題 ～抗血栓療養を含めて～』

演者：群馬大学大学院医学系研究科 リハビリテーション医学 教授 和田 直樹先生

群馬大学大学院医学系研究科 リハビリテーション医学 教授の和田 直樹先生をお招きして、『脳卒中リハビリテーションの最近の話題 ～抗血栓療養を含めて～』についての貴重なご講演をいただきました。

4. 第二部閉会挨拶

桐生厚生総合病院 副院長 曲澤 聡